

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名 No. 560904 介護予防普及啓発事業（一般）		主管課名 高齢福祉課								
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		課長名 深谷 幸広						
		施策	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち								
		基本事業	介護予防の推進								
	(1)事業の概要										
	市内在住の高齢者及びその家族（孫世代）を対象に、Jリーグクラブチームとの協働による健康教室を実施する。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)							
				名 称	単 位						
				65歳以上の市民（各年10月1日）	人						
				その指標							
	(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		Jリーグクラブチームに委託して、高齢者とその孫世代を対象とした、世代交流サッカー健康増進教室を市内芝生グラウンドで協働開催する。また、参加者全員でJリーグの試合を観戦する。								
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)								
市民（65歳以上高齢者）のうち要介護等認定を受けていない人			名 称	単 位							
			要介護等認定を受けていない65歳以上の高齢者	人							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)								
健康への意識付けをしてもらう			名 称	単 位							
			健康の意識付けされた高齢者	人							
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)								
健康で安心して暮らしてもらう			名 称	単 位							
			事業に参加した高齢者数	人							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単 位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		人	7,766	8,070	8,600	8,950	9,250	9,550			
(6)の対象指標		人	6,889	7,140	7,615	7,905	8,143	8,376			
(7)の成果指標		人	26	39	50	50	50	50			
(8)の結果の成果指標		人	26	39	50	50	50	50			
(10)予算費目		会計	06 介護保険特別会計（保険事業勘定）			款	04	項	01	目	01
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
事業費（決算又は予算額）		単 位	535	515	530	530	530	530			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	184	139	131	131	131	131			
	県支出金	千円	92	70	65	65	65	65			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	181	131	156	156	156	156			
	一般財源	千円	78	175	178	178	178	178			
人件費 B		千円	963	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015			
正職員従事時間×人数		時間×人	87 × 3	90 × 3	90 × 3	90 × 3	90 × 3	90 × 3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0			
その他費用 C		千円									
トータルコスト A+B+C		千円	1,498	1,530	1,545	1,545	1,545	1,545			
単位あたりコスト		千円/ 人	0	0	0	0	0	0			
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	560904	介護予防普及啓発事業（一般）
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成20年度 から			家族と一緒に参加する事業であり、家族にも介護予防の理解を得ることが必要である。その場だけのものとならず、参加者を含めた家族が協力して介護予防に努める環境づくりをいかにして進めるかが課題。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
シニア世代の健康増進や体力向上に寄与することを目的として「リーグと厚生労働省が連携して介護予防普及事業の一環で「リーグ介護予防教室」が実施されている。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化した内容 高齢者数や介護予防の必要性が増加している		

3 評価（SEE）	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務 →	根拠法令	介護保険法	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由	この事務を行う根拠又は理由	介護予防への意識付けをするため
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容	高齢者及び一緒に参加する孫の対象年齢の拡大	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由又は内容	健康への意識付けや孫世代との交流の場を失うこととなる	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない	理由又は内容	教室の開催回数を増やす	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名	通所型介護予防教室	
	効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？（仕様や工法の変更、住民の協力など）	ある → ない	内容	
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？（従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？）	ある → ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	高齢者の自発的な取り組みを引き出すとともに、いきいきと生活できる地域づくりを進めていく。					